

1. 消防組織・体制

1. 消防機関

平成21年4月1日現在における市町村消防機関の設置状況は次表のとおりである。

| 消防本部 | | | | 消防団 | | |
|------|-----|-----|-------|------|-----|--------|
| 消防本部 | 消防署 | 出張所 | 消防職員数 | 消防団数 | 分団数 | 消防団員数 |
| 31 | 91 | 114 | 7,713 | 50 | 850 | 27,433 |

県下56市町村(36市17町3村)全てが、常備消防体制をとっている。

常備消防体制を設置主体別にみると、31消防本部のうち23消防本部(22市2町)(※)は市町単独で設置し、8消防本部は共同処理による一部事務組合(14市15町3村)を設置している。(※)委託団体含む

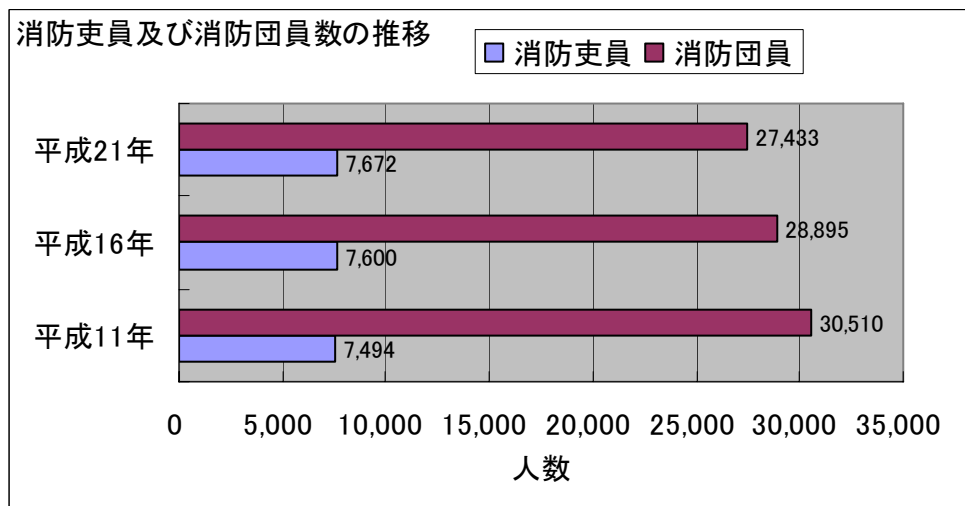
消防団は全て非常備消防団であり、整理統合が進んでいる。

2. 消防の人員

(1) 消防職員

平成21年4月1日現在の消防職員は7,713人、うち消防吏員は7,672人である。

消防吏員数の状況は次のグラフに示すとおりであり、常備消防体制の拡充とともに、毎年、増加している。



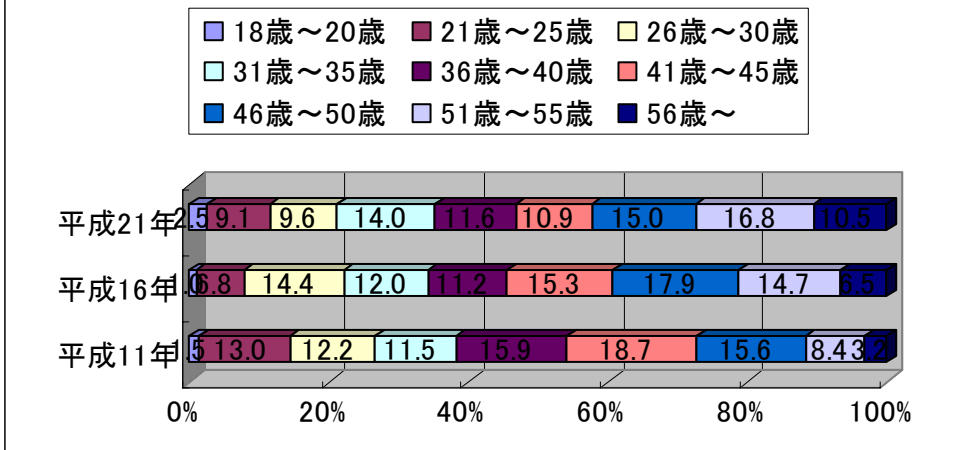
消防吏員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。

年齢別にみると、51～55歳が16.8%と最も多く、51歳以上の消防吏員の占める割合は増加の傾向にある。

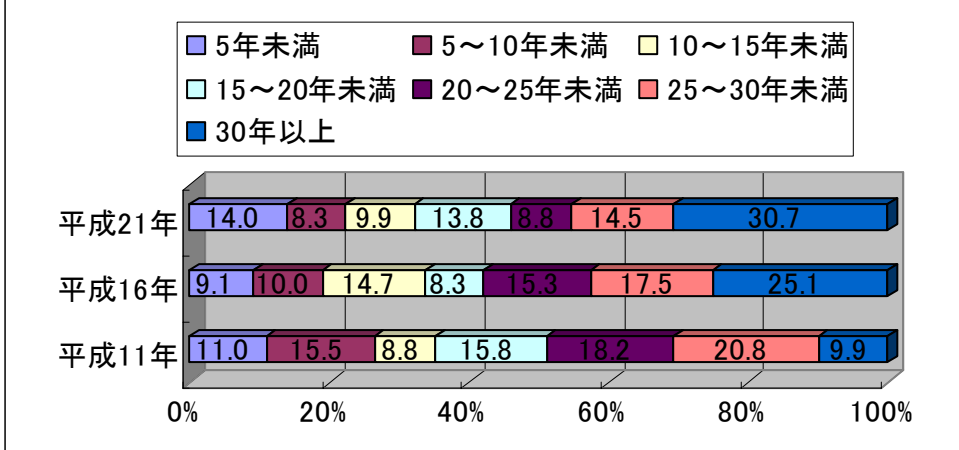
また、消防吏員の平均年齢は41.2歳で昨年より0.1歳低くなっている。

在職年数別にみると、30年以上が30.7%と最も多く、その割合も増加の傾向にある。

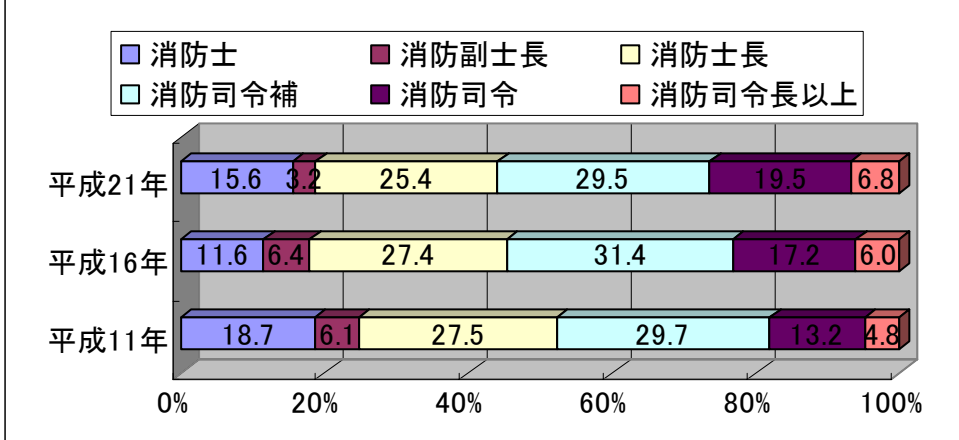
年齢別消防吏員の推移



在職年数別消防吏員の推移



階級別消防吏員の推移



(2) 消防団員

平成21年4月1日現在の消防団員数は27,433人であり、前年と比較して157人減少した。これを10年前と比較すると3,077人(約1割)減少している。

消防団員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。
 35歳以下の団員が全体の約6割、在職年数10年未満の団員が全体の約7割を占めているが、この割合は減少していく傾向にある。

また、団員の平均年齢は34.7歳で、昨年より0.4歳高くなっている。

